



# 小論文 医学部（保健学科）

## 注意事項

- 一、「解答始め」の合図があるまでこの冊子は開かないこと。
- 二、この冊子は表紙を除いて四ページである。
- 三、「解答始め」の合図があつたら、まず、掲示又は板書してある問題冊子ページ数・解答用紙枚数・下書き用紙枚数が、自分に配付された数と合っているか確認し、もし数が合わない場合は手を高く挙げ申し出ること。次に、受験番号・氏名を必ず2枚の解答用紙の指定された箇所に記入してから、解答を始めること。
- 四、解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に縦書きで記入すること。

次の課題文を読んで後の設問に答えなさい。

〔課題文〕

著作権の観点から、公表しておりません。

著作権の観点から、公表しておりません。

著作権の観点から、公表しておりません。

注一 80年代・1980年代を指す。

出典『スマホ脳』（アンデシユ・ハンセン著、久山葉子訳 新潮社、二〇二〇年）

\* 出題にあたり、問題文を一部改変した。また、常用漢字表を参照して一部にルビをふった。

〔設問1〕 本文を読んで、自身のスマホやSNSの利用実態と心の理論との関係について感じたことを250字以上、300字以内で述べなさい。

〔設問2〕 医療専門職となるあなたは、現代のデジタルライフの中で、共感力をどのように磨いていくべきか、あなた自身の考えを250字以上、300字以内で述べなさい。